

JAROUSSKY & GARCIA

《バロック・ライヴ劇場》第12回公演 **フィリップ・ジャルスキー&ティボー・ガルシア**

ジュゼッペ・ジョルダーニ: カロ・ミオ・ベン

フランチェスカ・カッチーニ: 愛がどんなものか知りたい者がいれば

ジョン・ダウランド: 暗闇に私は住みたい

: もういちど帰っておいで、やさしい恋人よ

ヘンリー・パーセル: 「ダイドーとイニーアス」Z626より

ベリンダ、そなたの手を /

私が土の下に横たわるとき (ダイドーの嘆き)

W.A.モーツァルト: ラウラに寄せる夕べの思い K523

ロッシーニ: 「タンクレディ」より こんなに胸さわぎが

シューベルト: 魔王 Op.1, D328

バリオス: 大聖堂 (第1楽章&第3楽章) (ギター・ソロ)

フォーレ: 川のほとりで

バルバラ: 美しい九月

ルイス・ボンファ: 黒いオルフェ・カーニバルの朝

ディレルマンド・レイス: バイーア女の風情 (ギター・ソロ)

チャペーラ・バルガス: 単純素朴なものたち

アリエル・ラミレス: アルフォンシーナと海

※本公演には休憩がありません

奇跡のライヴ。

Thibaut Garcia
Guitar

Philippe Jaroussky
Countertenor

Giuseppe Giordani: Caro mio ben

Francesca Caccini: Chi desia di saper

John Dowland: In darkness let me dwell

: Come again, sweet love doth now invite

Henry Purcell: Thy hand Belinda... / When I am laid in earth (Dido's lament) from "Dido and Aeneas" Z626

Wolfgang Amadeus Mozart: Abendempfindung an Laura K523

Gioachino Rossini: Di tanti palpiti from "Tancredi"

Franz Schubert: Erlkönig Op.1, D328

Agustín Barrios: La Catedral (n°1 and n°3) (Guitar Solo)

Gabriel Fauré: Au bord de l'eau

Barbara: Septembre

Luiz Bonfá: Manhã de Carnaval

Dilermando Reis: Xodó da Baiana (Guitar Solo)

Chavela Vargas: Las simples cosas

Ariel Ramírez: Alfonsina y el mar



2025年10月9日 木 19:00開演 18:00開場

全席指定 ¥12,000

© James Bort



2025.5.24(sat)12:00発売

王子ホールチケットセンター

03-3567-9990



© James Bort

Philippe Jaroussky & Thibaut Garcia

Countertenor

Guitar

バロック・ライブ劇場で実現する夢の共演。絶大な人気と名声を誇るフランスのカウンターテナー、フィリップ・ジャルスキーと、若くして数多の国際コンクールで優勝しているフランスのギタリスト、ティボー・ガルシアによる奇跡のライブ。ミラクル・ボイスがギターにそっと寄り添って、様々な時代、国、言葉、文化の壁を乗り越えて誘う非日常空間。吐息と爪弾きの風合いさえ楽の音となる315席で至福のひと時をご堪能ください。

フィリップ・ジャルスキー (カウンターテナー)

フランスのカウンターテナー。2004年フランスのヴィクトワール・ドゥ・ラ・ムジーク賞の「新人オペラ・アーティスト賞」、同じく10年に2度目の「年間最優秀オペラ・アーティスト賞」を受賞。08年には同賞の「最優秀レコーディング賞」を受賞。またドイツのエコー・クラシック賞「年間最優秀歌手」を受賞するなど、現在最も称賛されるカウンターテナーとしての地位を確立している。ジャルスキーのバロック音楽の膨大なレパートリーは、17世紀イタリアのモンテヴェルディ、サンセス、ロッシの洗練された作品から、ヘンデルとヴィヴァルディの驚くほどの華麗な作品まで多岐にわたる。これまでレ・ザール・フロリサン、レ・ミュージシャン・デュ・ルーヴル、エウローパ・ガランテなどの有名なピリオド楽器オーケストラと共演し、ウイリアム・クリスティ、マルク・ミンコフスキ、ルネ・ヤーコブス、ファビオ・ピオンディなどの指揮者と共演。また02年に「アンサンブル・アルタセルセ」を設立し、ヨーロッパ、南北アメリカ、日本、韓国、香港などで公演を行う。24/25年シーズンは、15年に渡るコラボレーションを祝うプログラムとしてラルペッジャータとの共演、モンペリエ歌劇場で指揮者としてモーツァルトの「ポント王ミドリダーテ」の指揮、またザルツブルク音楽祭でチェーリャ・バルトリとの共演で、ヴィヴァルディの音楽による「2幕のバステッショ」の出演を予定している。ワーナー・クラシックス／エラートの専属アーティストとして多くの録音があり、これまで数々の賞を受賞。また、何度も共演しているティボー・ガルシアと「À sa guitare／ギターに寄す」を21年にリリース。最新の録音は、シュベルトの「歌曲集」。19年、フランスの芸術文化勲章のオフィシエ勲章を受勲。

ティボー・ガルシア (ギター)

スペイン系フランスのギタリスト、ティボー・ガルシアは1994年トゥールーズ生まれ。7歳でギターを学び始め、若干16歳でパリ国立高等音楽院に入学を許可される。16歳でドイツ・ワイマールのアナ・アマリア・国際ギター・コンクールで優勝。以降、いくつもの国際コンクールで優勝を重ね、特に2015年合衆国オクラホマ市のGFA国際コンクール、14年スペインのホセ・トマス国際コンクール、13年スペインのセビリア国際コンクールで優勝。スペイン、イタリア、フランス、フィンランド、スイス、ドイツ、合衆国、ブラジル、アルゼンチンで開催されている世界的に著名なギターフェスティバルに数多く招待され、またウィーンのコンツェルトハウス、アムステルダム・コンセルトヘボウ、モスクワのチャイコフスキー・ホール等で演奏。16年トゥールーズ・キャピトル国立管との協演でコンチェルト・デビュー、この後BBC響等と協演。17年、ロンドンのBBCニュー・ジェネレーション・アーティストに指名され、18年10月にロンドンのウィグモア・ホールにデビュー。25年のハイライトは、11月にジュリアン・ブリーム・トラストから招待され、トラストの委嘱によるレオ・ブローウェルのギターと弦楽四重奏のための作品、ジュリアン・ブリームの追悼に捧げられた作品の世界初演をウィグモア・ホールで行う。ワーナー・クラシック／エラートと録音の専属契約を結び、16年「レイエンダ」、18年「Bach Inspirations／バッハに捧げる」、20年「Aranjuez／アランフェス」、21年フィリップ・ジャルスキーとの「À sa guitare／ギターに寄す」、最新のアルバムは、23年のバリオスの作品集「エル・ボヘミオ」。19年11月公開の映画「マチネの終わりに」(福山雅治&石田ゆり子ダブル主演、原作:平野啓一郎)に、天才ギタリスト役で登場した。



TOKYO ART&LIVE CITY

王子ホールは文化庁が推進する「東京アート&ライブシティ構想実行委員会」に参加しています。

●チケットのお問い合わせ・お申し込みは

王子ホール
チケットセンター

03-3567-9990

<https://www.ojihall.jp/>

●発売日は、電話とインターネットのみで受け付けいたします。

※発売日は1申し込みにつき1公演4枚までの枚数制限がございます。

※即日完売の場合もございますので、ご了承下さい。

※通常営業日:月曜～金曜 10:00～18:00(発売日以外の土曜・日曜・祝日は休業)。

■CNプレイガイド:0570-08-9990 <https://www.cnplayguide.com/>

■ローソンチケット:0570-000-407 <https://l-tike.com/> (Lコード36868)

■e+イープラス:<https://eplus.jp/oji/>

《発売日》2025年5月24日(土)
12:00から発売します。

●お席は全席指定です。●開演中のご入場はご遠慮いただく場合がございます。
●チケットの料金には消費税が含まれています。●未就学児童のご入場はご遠慮下さい。
●公演内容については一部変更になる場合がございますので、ご了承下さい。

ACCESS

- 地下鉄銀座駅 A12出口より 徒歩1分
- 地下鉄東銀座駅 A2出口より 徒歩2分
- 地下鉄銀座一丁目駅 8出口より 徒歩5分
- JR有楽町駅 銀座口より 徒歩7分

東急プラザ銀座		
	数寄屋橋交差点	
	和光	銀座通り
銀座四丁目交差点	三越	松屋
晴海通り	三越	王子HD本館
	入口	OJI HALL



OJI HALL

銀座 王子ホール 〒104-0061 東京都中央区銀座4-7-5

このチラシは王子製紙OKトップコートマットN第判76.5kgを使用しています。